

平成 30 年度 神奈川県立保健福祉大学
編入学 入学試験

栄養学科専門科目試験
問題用紙

- 指示があるまでは中を見てはいけません。
- 問題用紙は 5 ページあります。
- 解答はすべて解答用紙に記入してください。

問題Ⅰ 下記の問いに答えなさい。

問1 栄養素についての記述である。(1)～(8)にあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

糖質とは、 $C_n(H_2O)_m$ の化学式を持つ化合物で、炭素が水素と結合した化合物なので、(1)ともいわれる。糖質の種類には、(2)、(3)、(4)があり、(2)はこれ以上加水分解できない糖を示し、(3)は(2)の2～10個が(5)結合したものである。(3)のうち特に(2)が2個結合したものを(6)という。(4)は、多数の(2)あるいはその誘導体から脱水縮合してできた高分子化合物で、植物由来の(7)や動物由来の(8)がそれに該当する。

問2 学校給食についての記述である。(1)～(12)にあてはまる語句を解答欄に記入しなさい。

学校給食の運営の根拠とする法規は(1)である。

学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる職員は(2)とされ、教育職員免許法に規定する(3)の免許状を有する者又は栄養士法の規定による(4)の免許を有する者で学校給食の実施に必要な知識もしくは経験を有するものでなければならない。(2)のうち、(3)以外の者を(5)という。

給食の運営方式として、各学校の給食室で調理し利用者に給食を提供する(6)方式と、複数校の給食を1か所の給食室で調理し各校に配送する(7)方式がある。

学校給食は(8)、(9)、(10)の3種類に分類される。

児童または生徒1人1回あたりの栄養成分の摂取基準は(11)に定められている。

学校給食費は、原則として(12)が負担する。

問題Ⅱ 下記の問いに答えなさい。

問1 平成27年国民健康・栄養調査についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取頻度と野菜の摂取量は関連がない。
- (2) ふだん食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にしてしている者の割合は、男女ともに50%を超えている。
- (3) 肥満者(BMI \geq 25 kg/m²)の割合は、この10年間でみると、女性は有意に減少している。
- (4) 低栄養傾向の高齢者の割合は、「健康日本21(第二次)」の目標値を達成している。
- (5) 医療機関で受動喫煙の機会を有する者の割合は、「健康日本21(第二次)」の目標値を達成している。

問2 介護保険制度についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 被保険者は、すべて65歳以上の住民である。
- (2) 保険者は、都道府県である。
- (3) 特別養護老人ホームの入所の基準は、「要介護3」以上に制限されている。
- (4) 介護保険の対象となる特定疾病の中に、がんは含まれない。
- (5) 介護保険の認定は、介護認定審査会で判定される。

問3 日本食品標準成分表2015年版(七訂)に関する記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 炭水化物の成分値には、食物繊維も含まれる。
- (2) 牛および豚の「赤肉」は、皮下脂肪と筋間脂肪を除去した値が収載されている。
- (3) エネルギー値は、すべてAtwater(アトウォーター)の係数を用いて算出している。
- (4) 成分が検出されなかった場合、収載値の記号は「-」となる。
- (5) 脂質の測定には、ケルダール法を用いている。

問4 腎疾患についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) ネフローゼ症候群では、たんぱく尿が持続的に陽性の場合、高たんぱく質食とする。
- (2) 糸球体腎炎の急性期は、塩分の制限を行う。
- (3) 糖尿病性腎症の病期のうち、第4期まではたんぱく質の制限は行わない。
- (4) 血液透析では、たんぱく質の制限は行わない。
- (5) 腹膜透析では、リンの制限は行わない。

問5 健康増進法による特定給食施設の位置づけについての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 特定給食施設を設置する者は、厚生労働省に届け出なければならない。
- (2) 特別の栄養管理が必要なものとして都道府県知事が指定するものの設置者は、管理栄養士を置かなければならない。
- (3) 都道府県知事は、特定給食施設の設置者に対し、栄養管理の実施に必要な指導及び助言をすることができる。
- (4) 特定給食施設は、特定多数に対し継続的に1回100食以上または1日に250食以上の食事を提供する施設とする。
- (5) 特定給食施設の届出事項には、1か月分の予定給食数を記載する。

問6 我が国の平均寿命についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 男女ともに83歳を超えている。
- (2) 男女ともに、世界最長である。
- (3) 男性は、女性よりも長い。
- (4) 各年齢の余命を平均した値である。
- (5) 生命表から算出される。

問7 食事バランスガイドについての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 厚生労働省、文部科学省の2省合同で策定された。
- (2) 食生活指針を具体的な行動に結びつけるツールとして策定された。
- (3) 1日に「何」を「どれだけ」食べたらよいか示している。
- (4) 食事バランスガイドの基本形では、1日あたり2,200±200 kcalを想定している。
- (5) 1つ(SV)の基準が食品重量で示されているのは、「副菜」と「果物」である。

問8 穀類とその加工品についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 米のたんぱく質の制限アミノ酸は、バリンである。
- (2) そばのたんぱく質の制限アミノ酸は、リジンである。
- (3) 小麦粉の等級は、含まれるタンパク質量によって区別される。
- (4) アルファ化米は、熱湯を注ぐだけで「飯」に復元できる。
- (5) トウモロコシのたんぱく質には、トリプトファンの含量が少ない。

問9 食物摂取頻度調査法についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 習慣的な食事摂取状況を推定する際に利用されている。
- (2) 秤量法より対象者の負担が大きい。
- (3) 陰膳法よりコストが高い。
- (4) 目安量記録法より対象者の能力による誤差が大きい。
- (5) 秤量法より食事内容への影響が少ない。

問10 遺伝子の構造と機能についての記述である。正しいものには○を、誤っているものには×を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) DNA から DNA を合成することを、転写という。
- (2) mRNA の合成は、粗面小胞体で行われる。
- (3) DNA から mRNA を合成することを、翻訳という。
- (4) 遺伝暗号であるコドンのうち、AUG はタンパク質合成の開始コドンである。
- (5) mRNA からタンパク質を合成することを、複製という。

問題Ⅲ 下記の問いに答えなさい。

問1 溶液の作成に関する記述である。(1) ~ (3) にあてはまる数字を計算して解答欄に記入しなさい。

100g の水に 25g の塩化ナトリウムを溶かしたときの質量パーセント濃度は(1)%である。質量パーセント濃度 (1) % の塩化ナトリウム溶液を用いて、1,000 g の生理食塩水^(注1)を作成するには、質量パーセント濃度 (1) % の塩化ナトリウム溶液が (2) g と水が (3) g が必要である。

注1：生理食塩水は、質量パーセント濃度 0.9% の塩化ナトリウム溶液である。

問2 給食経営管理における損益分岐点に関する記述である。(1)、(2) にあてはまる数字を計算して解答欄に記入しなさい。

ある給食施設の月間の売上高は 100 万円、変動費は 60 万円、固定費は 30 万円であった。この場合の変動費率は (1) %、損益分岐点は (2) 万円である。

問題IV リポタンパク質の種類を4つあげ、それぞれの生体内における役割について述べなさい。

問題V プロチャスカ (Prochaska) らが提唱した行動変容段階モデル (トランスセオレティカルモデル) の5つの行動変容段階を順番にあげて、それぞれどのような時期なのかを述べなさい。